



坂戸市立南小学校 笑顔・感動・花いっぱい 夢道場・南小だより

【学校教育目標】

- やさしく (徳)
- かしく (知)
- たくましく (体)

学校経営方針 『明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に』

令和6年7月2日
第4号 文責 鈴木 博貴

光る汗、弾ける笑顔！ 一致団結『令和6年度 南小・大運動会』!!

【運動会のめあて】『心を一つに 最後まであきらめない 南っ子!』5月25日(土)

今年度は、新型コロナウイルスの位置づけが変わり、全員が声を出して応援することができる運動会を4年ぶりに開催することができました。しかし、熱中症対策を講じながらの練習や準備、そして当日も気温が上がるという予報で熱中症が懸念されましたが、今年度も千代田中学校や本校PTAから多大なご協力をいただき、昨年度と同様に児童席をテントで覆いつくすことができ大変有難かったです。当日は、風薫る五月晴れの中、運動会本番を迎えることができました。今年度は、日頃より子供たちのために南小を支えてくださっている保護者の皆様に加え、学校運営協議会や学校応援団等、日頃より本校にご尽力いただいているご来賓の皆様も多数ご招待することができ、南っ子たちの笑顔や輝く姿を存分にご覧いただくことができました。



南っ子たちが考えた素敵な令和6年度 運動会のめあて『心を一つに 最後まであきらめない 南っ子!』を掲げ、南っ子たち全員が、「運動会を絶対に成功させよう!」「みんなの思い出に残る最高の運動会にしよう!」という強い気持ちで全校一丸となって取り組んできました。これまで、子供たちは、汗や砂にまみれ、時には歯を食いしばり、励まし助け合いながら、限られた練習時間にもかかわらず一生懸命に練習や準備に取り組んできました。その熱い想いを胸に、本番のこの日、子供たちは力の限り、その成果を思う存分に発揮しました。諦めずに最後まで全力を尽くす姿、仲間たちと心を一つにして頑張った集団演技、学年を越えて一生懸命に仲間を応援し、励まし、称え合う数多の姿。大変に立派でした。運動を得意としている子も、どちらかという運動が苦手な子も、一人一人全員が自分のめあてや目標をしっかりとって、仲間たちと力を合わせることで、全員の子供が主人公となる、これぞ坂戸市立南小学校と言える、この世界にたった一つしかない最高の運動会を創り上げることができました。

【南小一心】 世の中の閉塞感や不安を跳ね返すような南っ子たちのたくさんの光る汗と弾ける笑顔。主役の子供たちを中心に彼らを取り巻く大人たち全員が、感動で心が一つに結ばれた、まさに「日本の元気は南小から」の如く、地域の大きな期待を担い44年の歴史と伝統を誇る南小に相応しい確かな「感動の運動会、感動の歴史」を刻むことができました。

【千代田中学校様】『今年もたくさんのテントをお貸しいただき、誠にありがとうございました。』

【保護者・地域の皆様へ】 令和6年度の運動会を無事に実施することができました。子供たちが精一杯力を発揮することができたのも、ご家庭での励ましや体調管理、地域の皆様の安心・安全で潤いのある環境づくり等、様々なご支援ご協力をいただいている保護者・地域の皆様のお陰です。皆様には、当日も子供たちに惜しみない沢山の拍手やエールを贈っていただきました。今年度も、感染症予防の観点から、場所取りの禁止などでもご協力いただきました。また、PTA役員や有志の保護者の皆様には、運営面の補助やテントの片付け等、最後までご協力をいただきました。改めて感謝を申し上げます。今後も引き続き、南っ子たちの笑顔と輝く姿のために、ご支援ご協力をよろしくお願いたします。なお、運動会で業者が撮影しましたスナップ写真は、ご希望で購入していただけます。後日、ご案内をさせていただきます。



【南小一心】これぞ南っ子たちの「力」と「技」、**「団結力」**！たくさんの感動をありがとう！！



【応援合戦】心を一つにフレーフレー南！



【赤組団】応援合戦(団結賞)



【青組団】応援合戦(アイディア賞)



【3・4年生】『南小ソーラン節』



【1・2年生】『GO！ GO！ たまごっち』



【5・6年生】『あしの子(二人三脚)』



【5・6年生】『繋がる～同じ空の下～』表現運動と4色旗による集団演技



【3・4年生】『巻き起こせ！南小旋風』



【3・4年生】『徒競走(80M)』



【1・2年生】『徒競走(60M)』



【5・6年生】『徒競走(100M)』



【1・2年生】『心を燃やせ Mela！』



【閉会式】『6年生代表 感想発表』



【閉会式】『2年生代表 終わりの言葉』

【校長室より】「心配」とともに「心配り」の『共育・協育』を～「目配り、気配り、心配り」の大切さ～

「教育の道は、家庭の教へで芽を出し、学校の教へで花が咲き、世間の教へで実が成る」(幡羅小学校『家庭心得』より)。
 子供たちの健全育成に欠かせない三教育。則ち、家庭教育・学校教育・社会教育。教育の道には、三者連携の『共育・協育』が必要だ。よく耳目に触れる「目配り・気配り・心配り」の「三配り」。それぞれの意味合いは異なるが、ケガや熱中症、感染症等の「心配」が尽きない中で、今年度の運動会でも子供たちを取り巻く大人たちの「三配り」を身に染みて感じた。日常生活はもとより、子供たちが自らの体験を通して大きく成長する行事でも、その過程において子供たちの変容を見逃すことなく、成長を促す「目配り・気配り・心配り」。特に「心配り」は欠かせない。危機管理としての「心配」とともに、「心配り」を大切にしたい。大きな行事を全員で成し遂げた貴重な「感動体験」ー子供たちを取り巻く大人たちの「三配り」の中で、それは何倍にも大きくなる。